

## 接合科学研究所 女性の会(JWRI 女会)

梅田 純子

接合機構研究部門 複合化機構学分野 准教授

2019年7月12日(金)昼休みに第8回JWRI女会が開催され、29名の女性教職員と5名の女子学生、さらに男女協働推進センター木本課長がスペシャルゲストとして参加されました。

今回初めて参加した5名の職員の自己紹介から、会が始まりました。続いて、JWRI女会メンバーが講師役となった初めてのプチセミナー「女性と仕事」が行われました。本セミナーは、学部4年生から「母が専業主婦のため、女性が働き続けるということに対して現実が分からない。自分の将来のためにJWRI女会の方々から色んな話を伺いたい」という提案がありました。接合研には職位や文系・理系出身に関わらず、多くの社会経験や海外経験を積んだ女性が在籍していることから、これまでの多様な経験を紹介してもらうことで、学生のみならず教職員にも意識改革になるかと考え、プチセミナーの開催に至りました。まず1回目は、大阪大学で数少ない女性事務長職に就かれている今井京子事務長と、理系出身かつ3人の子育て中の榊原聡子庶務主任がお話してくださいました。今井事務長は「そして接合研へ - 私のキャリアパス - 」と題し、長年大阪大学で働いてこられた歩みや生活も楽しむことで仕事に邁進できたこと、さらに大阪大学への愛情を持つことで職場への愛着が沸くことなどを話されました。榊原庶務主任からは「ワーク・ライフ・バランス～仕事と生活の調和～について」と題し、ライフイベントによって仕事中心ではなくなった現在、仕事と生活のバランスがとれている理由として、学内の様々な制度を利用するだけでなく、職場や家族のサポートとそれに対する感謝を忘れないこと、さらに自分の意識を変えることが重要だと述べました。メンバーからは「仕事も生活も楽しみたい」「一人で抱え込むのではなく、役割分担をして人への感謝を忘れないことが仕事を続ける上で大事だと改めて感じた」などの感想が寄せられた。

今後も多くのメンバーに登壇してもらい、互いを刺激し励まし合うことで仕事への意識を高め、さらに良い職場環境を築くことができると期待しています。

